

# ハスモンヨトウ情報第1号（ダイズ）

平成27年8月3日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 1 発生状況

フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺数（7月第5半旬まで）は、平年に比べやや少なく推移しています（図）。

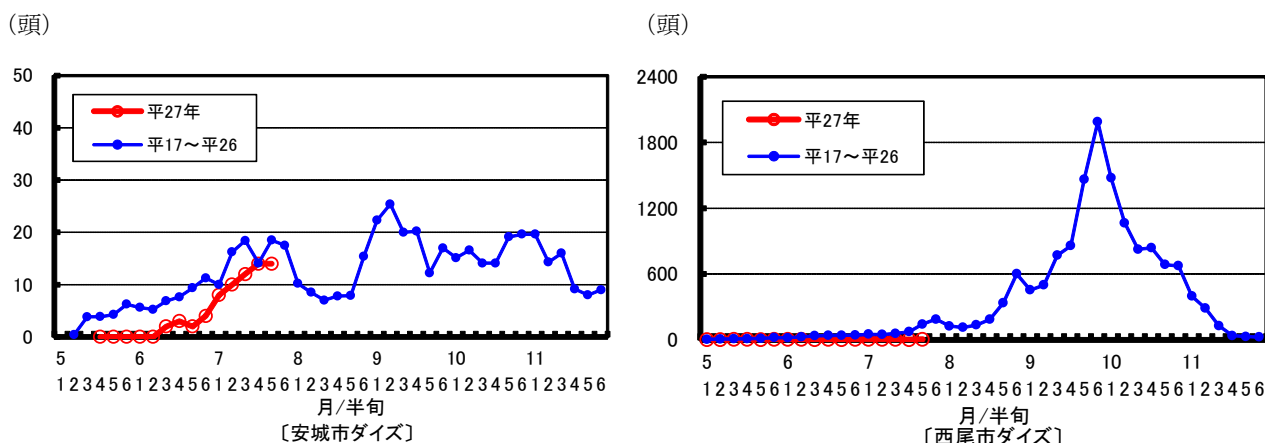


図 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺数

## 2 今後の状況

7月30日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、8月は気温が高い確率が60%、降水量は平年並または少ない確率ともに40%と、ハスモンヨトウの発生に好適な条件が予想されています。そのため、現状の発生量がやや少ない状況でも、8月中旬以降、発生量が急増する可能性があります。

ほ場での発生動向に注意して、白変葉及び幼虫を確認したら、表を参考に防除しましょう。

表 ダイズのハスモンヨトウに対する主な防除薬剤

| 薬 剤 名      | 収穫前日数  | 使用回数 |
|------------|--------|------|
| ロムダンフロアブル  | 14日前まで | 3回以内 |
| トレボンEW     | 14日前まで | 2回以内 |
| ラービフロアブル   | 14日前まで | 2回以内 |
| トルネードフロアブル | 7日前まで  | 2回以内 |
| プレオフロアブル   | 7日前まで  | 2回以内 |
| プレバソフロアブル5 | 7日前まで  | 2回以内 |
| マッチ乳剤      | 7日前まで  | 2回以内 |
| マトリックフロアブル | 前日まで   | 3回以内 |

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。